



浦和を歩こう

うさぎスイーツと新緑の歴史探訪マップ

「月とうさぎスイーツ」 月のお菓子

③中田せんべい うさぎのお菓子

彩の月

④松月堂

招きうさぎ

⑥加藤製菓

調社のうさぎ餅

⑧花見

夢調兔

⑨はらやま

宮うさぎ

⑩セキモト

うさぎサブレ

⑤大善院 (足立百不動尊 3番)

天台宗寺門派

明治初期廃寺となった修験の寺・玉林院の不動尊を本尊として明治12年に開山とされる。その時配下の寺・西林院や明音院からも仏像などが運ばれたと考えられる。西林院の百不動3番の扁額もある。

木造役行者及び二鬼像

製作年代は江戸時代中期

玉林院および西林院の旧仏のひとつであったとされるが、玉林院の本尊であった可能性はきわめて高い。



②本太氷川神社旧本殿

(県指定有形文化財)

一間社流見棚造り

慶安3年(1650)の建立

臺股がなく装飾が少ない。

中には宝徳3年(1451)建立

の宮殿、文安5年(1448)の

案と木鐸が2本入っていた。

宮殿の墨書銘に高埴佐衛門

盛影の名があり、このあたり

の地頭は高埴氏であったことを伝える。大宮から浦和にかけては高埴郷と呼ばれていた。



①本太観音堂

(足立坂東三十三ヶ所 3番)

瑞巖寺に属していたが、明治

初期に廃寺となり、観音堂だけ

が残った。木造聖観音坐像は

典型的な天衣垂下の尊像で南

北町時代の作。絵馬三面が

あり、連経講という観音経の講が

江戸後期から明治末まで、こ

の地で継続していたことがわか

る。

⑦調神社旧本殿

享保18年(1733)の建立。一間社流造り。

波を蹴るうさぎなどの彫刻が見どころ。

月待信仰が盛んであった中世には、調神社は

月宮殿に擬せられたことがある。月宮殿におわ

す月天子の使い姫であるうさぎが境内にも多く

見られる。また波を蹴る兔の意匠は桃山から江

戸初期に大流行している。



調神社旧本殿



調神社旧本殿
脇障子

